



望

～ぼう～

2019年1月発行

21号



明けましておめでとうございます。

昨年も多くの皆様との出会いがありました。スタッフ一同、皆様方の思いに寄り添いながらお話を聞かせていただき、多くのことを考え、学ばせていただいた一年でした。2019年がスタートし、はや三週間が過ぎようとしています。今年の十二支、亥は、十二支の最後です。

植物の成長としては、葉っぱも花も散ってしまい、種に生命を引き継いだ状態が、「亥」だそうです。

十二支には、それぞれに季節が割り当てられていますが、亥の季節は冬です。春の芽吹きまで、じっと固い種の中でエネルギーを内にこめている。まさにそうしたイメージが亥年の持つ意味ということだそうです。亥に木編を補うと「核」となり、内側の芯を意味するというのも、象徴的ですね。ウィッシュも今年は、より一層内部の充実を図りながら皆様にとって「相談したい」「相談してよかった」等々思っただけのセンターを目指して頑張りたいと思います。どうかよろしく願い申し上げます。



センター長 石橋美恵子

◆ ウィッシュ医療相談 ◆

診断・投薬はできませんが、医療に関わる心配ごとを相談できます。

月	日	担当医師	場所	時間
1月	15日 (火)	青葉病院 藤本昌彦先生(精神科)	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	18日 (金)	鳥取大学医学部 兼子幸一先生(精神科)	《安来会場》 安来中央交流センター	① 14:00～15:00 ② 15:30～16:30
2月	22日 (金)	島根大学附属病院 小池昌弘先生(精神科)	《雲南会場》 雲南市役所	① 14:00～15:00 ② 15:30～16:30
	25日 (月)	島根大学附属病院 小池昌弘先生(精神科)	《出雲会場》 出雲保健所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
3月	5日 (火)	青葉病院 藤本昌彦先生(精神科)	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00

*予約制です(お一人1時間弱)。医師定期相談は医療にかかっていない方を優先させていただきます。医療相談をご希望の場合でも、原則、事前にスタッフとの面談が必要となります。

*医師が必要と判断した時は発達障がいの専門的な検査を行うことが可能です。そのため、相談には臨床心理士が同席させていただきます(詳細はお問い合わせください)。

*医師との相談後、発達障がいに関する支援が必要であれば引き続きセンターでご相談もできます。

親の会の活動

1月	2月	3月
10日(木) 自閉症協会雲南支部 場所：つつじホール 時間：10:30~12:30	7日(木) 自閉症協会出雲支部 場所：療育センター燦々 時間：10:00~12:00	7日(木) 自閉症協会雲南支部 場所：つつじホール 時間：10:30~12:30
16日(水) 自閉症協会松江支部 場所：総合福祉センター 時間：10:00~12:00	20日(水) 自閉症協会松江支部 場所：総合福祉センター 時間：10:00~12:00	9,10日 手をつなぐ育成会 いいともおやとも子育て講座 (宿泊研修)
未定 手をつなぐ育成会 いいともおやとも子育て講座 場所：未定 時間：10:00~12:00	28日(木) ひだまりの会 場所：いきいきプラザ 時間：14:00~16:00	20日(水) 自閉症協会松江支部 場所：総合福祉センター 時間：10:00~12:00

※ウィッシュのスタッフも参加させていただいています。

おじゃましま〜す 復刻版

今回は、NPO 法人こだまさんで昨年4月にオープンした就労継続支援B型事業所「カフェこだま」さんをご紹介します。こちらのカフェは、もともとは地域の中でこだまさんの利用者の方が安心して利用できる場をイメージして作られたのですが、口コミだけで一般の方にも広がり、今では利用者の方も一般のお客さんも皆さんが安心して利用できるカフェとなっています。ウィッシュの発達障がい支援フォーラムでシンポジストとしても登壇いただいた、店長の福田翔子さんは、地域の方との交流をととても大事にされていて、「障がいのある方と地域の方が自然に交流できることが当たり前になったらいいな」とお話しされていました。また、カフェこだまさんは就労継続支援B型事業所として、働く場の提供もされています。接客ができる方だけでなく、どのような方でも働けるよう環境作りに取り組んでおられます。

ウィッシュの事業でも何度もカフェこだまさんにお邪魔させていただいていますが、とても素敵なカフェでスタッフ含めみなさんに大好評です。限定20食の日替わり定食もとても美味しいですよ。



＊カフェこだま＊
 松江市東忌部町 96-5
 営業日 月～金（定休日 土日祝）
 営業時間 10時～16時

私の物語 ～就労編～

社会人時代

会社の皆様のご協力や緑が丘養護学校の先生方のご努力もあって2015年4月から日立金属安来製作所の総務部施設管理グループで勤務することになりました。

入社してからしばらくの間は、社内の廃棄文書を回収して異物を取り除き、大型のシュレッダー機にかけ作業や、会議が行われる会場の机や椅子を予定通りに設営する作業等を行っていました。

この頃は特に、係長から色々な助言・指導をしていただきました。①作業中に少しでもわからないことがあれば、すぐに作業を止め上司や先輩に聞くこと。②指示を黙って待つのではなく、指示された作業が終わったら次にやるべき事を直ぐに訊くようにと指導していただきました。

私自身も、「定時のチャイムが鳴るまで給料をもらっている時間」ですから、それを無駄にしないように、汚れているテーブルを拭くなど、小さな作業を見つけ時間を有効に使うよう努めています。また、グループ長の「一人ひとりがプラスワンでレベルアップ」という、どんな小さな事でも目標をたて実行するという方針に共感し、勉強は苦手でしたが、危険物取扱者や消防設備士の資格取得に挑戦し合格しました。

2016年の2月頃から緑化班で工場内の草刈り、芝刈り、サツキやツツジ等の低木やカイヅカイブキ等の刈り込み等の作業を行っています。植物の手入れは一つ一つ違っていても難しいですが、班長や先輩からのアドバイスをもらい、少しずつ作業のコツを覚えていきます。工場内の芝生や木の手入れをすることで工場全体が美しくなり、その魅力を教わりながら作業をしています。

発達障がいの子どものことで悩んでおられる親御さんへ

私の場合は自分が発達障がいを自覚したのではなく、周囲が早いうちから自分の特性に気づき、無理をしないように様々な配慮を行いました。その環境の中で少しずつ、人に対する恐怖心が薄れ、いろんな事に挑戦する自信ができました。

私が申せる立場ではありませんが、もし周りとは異なる子どもさんがおられたら、強制的に周りに合わせようとせず、教員やカウンセラー、医療機関の先生、そしてウィッシュのような発達障がいの専門家の皆さんと協力されて、少しずつ子どもに配慮できる環境を整えてくださればと思います。

今、大人になって昔の出来事を振り返ると、私の両親はとても苦しく、先が見えないことのように感じたと思います。でも、まずは一人で悩まず、協力してくれる人を探してくださいと思います。そうすれば、いつか子どもがその努力に応えてくれるかもしれません。

石倉さんには、小・中・高校時代、そして就労してからの体験談を大変わかりやすく寄稿していただき本当にありがとうございました。
今後の益々のご活躍を心からお祈りいたします。 (川上)

発行元*

「島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ」

TEL 050-3387-8699/FAX 050-3730-9745

〒699-0822 出雲市神西沖町 2534-2 (さざなみ学園内)

E-mail:wish@sazanami-g.jp

担当:高田 編集長:川上